

チャリティーショップの 環境・社会貢献活動強化事業

〒461-0002
愛知県名古屋市東区代官町39-18
日本陶磁器センタービル5階
電話:052-982-9079
E-mail:staff@es-net.jp
http://es-net.jp/



ひろげる助成

2年目

実践



C.S.での障がい者の就労支援

寄付品 回収ボックスの設置	12か月
障がい者の 就労受け入れ	683人・日
今年度計画の達成度	90%
活動の全体目標に対する 達成度	75%

苦労した点と工夫した点



■ 苦労した点

障がい者の就労をC.S.で行う実験では、精神障がいの方を受け入れたので、その特性を踏まえたケアに苦労した。

■ 工夫した点

海外のリユース状況の調査とその報告をする際、写真を多用して、国内と同じ点・相違点の比較をしやすいように工夫した。

課題

リユースの寄付品を集めて販売し、利益を非営利活動に使う「チャリティーショップ」は、環境負荷を抑えつつ多様な社会貢献ができるが、その機能が十分に活用されていない。

目標

チャリティーショップ(以下C.S.)での、環境・社会貢献活動の社会実験結果や、既存の先進事例の成果や課題が整理され、国内のC.S.運営団体が共有し活用している。

活動内容と成果

1. C.S.の新たな環境・社会貢献活動の社会実験 ①寄付品回収ボックス: 12か月設置 ②売れ残り食器の海外リユース:年間44トン ③障がい者の就労支援:年間683人・日受け入れ ④C.S.における防災イベント:参加70名

⑤海外でリユースする売れ残り品目の拡大活動:カンボジア現地調査

2. すでに行われたC.S.の先進的な環境・社会貢献活動の調査 ①古着回収ボックス ②C.S.におけるフードドライブ※(家庭の余剰食品を生活困窮者に届ける活動)

3. C.S.運営団体向け研究会を開催:参加32名



カンボジアのリユースショップ現状調査

今後の展望

収集・蓄積できた情報を、C.S.の特長としてまとめ、他団体も活用しやすくするとともに、C.S.の社会的価値や可能性を一般の方にもわかりやすく発信する。